



ソーシャルスキルトレーニング絵カード

連続絵カード
小学生中学年版2 言動と反応の対比

A5版 45枚(3枚組×15)

1	自分で決めたルールを相手に押し付けず、納得できるような伝え方をする。
2	自分の都合ばかりを主張せず、相手の様子を見て譲ることが必要な場面があることを知る。
3	自分の都合ばかりを主張せず、全体を見た上で適切な主張をすることが必要な場面があることを知る。
4	学校にある遊具は、一人で使うものではなく、互いが譲り合って使うものだとすることを知る。
5	怪我など緊急事態の時には、優先順序を変えることが必要だということを知る。
6	予定は、場合によっては変更されることもあると知り、そのことを受け入れる。
7	友達の家で喉が渴いた時は、どこの家にもある水やお茶を頼むようにする。(可能なら水筒を持参する)
8	大勢で楽しんでいる時には、自分の言動が他の子の楽しみを奪うことのないように気を付ける。
9	たまたま自分は知っているも、相手は知らないこともあるのだと知る。 興味があるようなら説明をしてあげる。
10	「あるから」と言われても、それは単なる説明ではなく「あるからそれを持って来て」という意味の時があることを知る。
11	「お姉ちゃん」という言葉には、誰かの姉という意味とは別の意味や使い方があることを知る。
12	「良い子はここで遊びません」というのは「この場所は危険なので、遊んではいけない」という意味であることを知る。
13	同じ行動でも、見方によっては違う表現になることがあることを知る。
14	相手の気分を害してしまう言動があることを知り、言葉の使い方に気を付ける。
15	自分ばかりが狙われるというより、自分が狙われやすい状態を作ってしまうことを知る。